

執筆紹介 ABOUT AUTHORS

(① 肩書、② 主な著書・論文、③ 主な活動)

【編著者】

西村 仁志 (にしむら ひとし)-----1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 16 執筆

- ① 広島修道大学人間環境学部准教授
- ② 『ソーシャル・イノベーションとしての自然学校』みくに出版、2013年
『よくわかる環境教育』(共著) ミネルヴァ書房、2013年
- ③ 1963年京都生まれ。京都 YMCA 勤務ののち1993年に環境教育の専門事務所「環境共育事務所カラーズ」を開業し、環境教育の企画とプロデュースの現場に数多く関わる。2006年から同志社大学大学院総合政策科学研究科准教授、2012年より現職。

【執筆者】

山口 洋典 (やまぐち ひろのり)-----9, 24, 25, 28, 29 執筆

- ① 立命館大学共通教育推進機構准教授、浄土宗應典院主幹
- ② 『地域社会をつくる宗教』(共著) 明石書店、2012年
『コミュニティメディアの未来』(共著) 晃洋書房、2010年
- ③ 1975年静岡県磐田市生まれ。学生時代、阪神・淡路大震災、地球温暖化防止京都会議など、仕組みと仕掛けをつくる実践に携わる。2006年に得度、浄土宗宗徒に。2006年10月より同志社大学の教員を兼ねる。2011年4月より現職、サービスラーニング科目を担当。

関根 千佳 (せきね ちか)-----11, 12, 21 執筆

- ① 同志社大学政策学部・大学院総合政策科学研究科教授、株式会社ユーディット会長
- ② 『ユニバーサルデザインのちから』生産性出版、2012年
『誰でも社会へ』岩波書店、2002年
- ③ 多様な人々が自分らしく生きられるユニバーサルデザイン (UD) の社会をめざして、1998年に株式会社ユーディットを設立。2012年より現

職。市民視点で多くの企業、自治体、省庁のUD戦略に助言を行っている。

坂倉 杏介 (さかくら きょうすけ)-----26, 27 執筆

- ① 慶應義塾大学グローバルセキュリティ研究所特任講師
- ② 『黒板とワイン』(共著)慶應義塾大学出版会、2010年
『いきるためのメディア』(共著)春秋社、2010年
- ③ 1972年名古屋市生まれ。キャンパス外の新たな学び場「三田の家」(~2013年)、地域コミュニティの拠点「芝の家」など、コミュニティ形成の場づくりを実践的に研究している。三田の家LLP代表、NPO法人エイブル・アート・ジャパン理事。

宗田 勝也 (そうだ かつや)-----13, 18 執筆

- ① 難民ナウ!代表、龍谷大学非常勤講師
- ② 『誰もが難民になりうる時代に』現代企画室、2013年
『コミュニティメディアの未来』(共著)晃洋書房、2010年
- ③ 1966年京都市生まれ。2004年より京都市中京区のコミュニティFM局・京都コミュニティ放送(FM79.7MHz)で、「難民問題を天気予報のように」をコンセプトにしたラジオ番組「難民ナウ!」を制作している。

中野 民夫 (なかの たみお)-----15, 17 執筆

- ① 同志社大学政策学部・大学院総合政策科学研究科教授、ワークショップ企画プロデューサー
- ② 『みんなの楽しい修行』春秋社、2014年
『ワークショップ』岩波書店〔岩波新書〕、2001年
- ③ 大学院ソーシャル・イノベーションコースと政策学部で、「至福の追求と社会変革」をテーマに、参加型の授業を展開。ワークショップ企画プロデューサーとして、人と人・自然・自分自身をつなぎ直すワークショップや、ファシリテーションの講座を多数実践。2年前に会社勤めから京都に転身、毎朝鴨川を歩きヨガと音楽と料理を楽しんでいる。

西村 和代 (にしむら かずよ)-----10, 19 執筆

- ① カラーズジャパン株式会社代表取締役、広島修道大学非常勤講師
- ② 「〈場所の力〉による創発イノベーションに関する研究」同志社大学博士論文、2011年
- ③ 1967年京都生まれ。2009年、京都市中京区に「京町家 さいりん館 室町二条」、2014年、おぼんざい食堂「ひとつのおさら」を開業し実践の場を展開。子育てや生協、PTAでの役員経験を活かした独自の主婦視点をもち、環境教育、食と農のプロジェクト、人材育成、まちづくりに取り組んでいる。

深尾 昌峰 (ふかお まさたか)-----20, 30 執筆

- ① 龍谷大学政策学部准教授、公益財団法人京都地域創造基金理事長
- ② 『持続可能な地域実現と大学の役割』（共著）日本評論社、2014年
『対話と議論で〈つなぎ・ひきだす〉ファシリテート能力育成ハンドブック』（共著）公人の友社、2011年
- ③ 1974年生まれ。阪神・淡路大震災を契機にきょうとNPOセンターや三条ラジオカフェ、京都地域創造基金などの市民の多様な活動を支える仕組みづくりに携わる。2012年には非営利型株式会社 PLUS SOCIALを起業し代表取締役も務める。

山本 克彦 (やまもと かつひこ)-----22, 23 執筆

- ① 日本福祉大学福祉経営学部准教授
- ② 『災害ソーシャルワーク入門』（共著）中央法規出版、2013年
『東日本大震災とNPO・ボランティア』（共著）ミネルヴァ書房、2013年
- ③ 1961年京都生まれ。教育や福祉の現場を経て、2003年に岩手県立大学へ。2004年中越地震、2007年中越沖地震で学生と共に災害ボランティアに関わり、2011年東日本大震災を迎える。地域福祉と災害ソーシャルワークが専門。2014年より現職。

川中 大輔 (かわなか だいすけ)-----14 執筆

- ① シチズンシップ共育企画代表・ファシリテーター、日本シチズンシップ教育フォーラム (J-CEF) 事務局長、甲南大学非常勤講師
- ② 『シチズンシップ教育』（共著）明るい選挙推進協会、2012年
『学校ボランティア・コーディネーション』（共著）筒井書房、2009年

- ③ 1980年神戸生まれ。1998年から青少年支援・環境・まちづくりの市民活動に取り組み、2003年に「市民としての意識と行動力」を育む学びの場をつくるシチズンシップ共育企画を設立。全国各地で市民教育や協働まちづくり、市民組織運営のワークショップを担当。